

令和2年度 2学期始業式（全日制） 校長式辞

今年は、例年より短い夏休みで、しかも、愛知県独自の緊急事態宣言も発令されたため、多くの人が、外出を控え、自宅で過ごしたことと思います。

東京都の小池知事が「ことしは特別な夏だ」と発言していましたが、ある意味記憶に残る「夏休み」だったのではないのでしょうか。

さて、記憶に残るといえることと言えば、先週の木曜日、愛知県瀬戸市出身の将棋の藤井聡太さんが、王位というタイトル戦で勝利し、棋聖というタイトルとあわせて2つのタイトルを獲得しました。

18歳1か月での二冠獲得、また、八段への昇段も、史上最年少の記録となりました。

まさに「天才」という言葉が浮かんで来ますが、ある本でこのようことが書かれていました。

「天才が最初から天才であるはずがない。天才とは、他の人たちが諦めてしまった天井に挑み続け、ついには破ってしまった人間のことだ。

だが、そうした人間にはさらなる天井が現れ、そのたびに自分なりに答えを出していく。

そばから見れば、天井がないように見えるがそれは違う。己の頭上にある天井に果敢に挑み、破り続けているだけだ。」

藤井聡太さんも、詰め将棋というアナログな手法で基礎力を培い、人工知能（AI）を用いた研究で「中盤戦での読みの速さと正確さ」に磨きをかけてきたそうです。

「自分自身の天井、つまり限界に、いつまでも挑み続けることの大切さ」を改めて考えさせられました。

これから3年生は、就職試験や大学・短大、専門学校の入学試験に挑戦します。進路実現に向けて、前向きな気持ちを持って、果敢にチャレンジしてください。

また、部活動では、この夏休みにあった大会などで、活動の一線から退いた3年生がいます。先ほど、表彰した生徒をはじめ、よく頑張りました。

まだ、最後の大会に向けて頑張っている3年生、あとを託された2年生・1年生、これから始まる新人戦などに向けて、自分の頭上にある天井を打ち破ってください。

「I can do it!」（私はできる!）

「You can do it!」（あなたはできる!）

2学期も、さまざまなことに挑んで、素晴らしい、青春の1ページを描けることを期待して、2学期始業式の式辞とします。